

株主の皆さまへ

第10期 中間報告書

2022年12月発送

BUSINESS REPORT

CONTENTS

トップインタビュー	1
九段会館テラス開業	3
TOPICS	5
株主の皆さまへのご案内	9

株主の皆さまへ

WE ARE GREEN 誰もが自分らしく輝ける未来へ

代表取締役社長
西川 弘典



第10期中間期を振り返って

当中間期のわが国経済は、国際情勢の緊迫化や世界的な金融引き締めの中なかで、物価の上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等が続く一方、新型コロナウイルス感染症による行動制限や水際対策の緩和などの社会・経済活動の正常化に向けた動きが進展し、緩やかながらも持ち直しを続けてまいりました。

当社グループは、2022年5月に策定・公表した「中期経営計画2025」に基づいて、アフターコロナの再成長に向けた稼ぐ力と効率性の向上、強固で独自性のある事業ポートフォリオ構築に向けて取り組みを推進してまいりました。

当中間期におきましては、住宅市場の底堅い需要等を背景に、都市開発事業セグメントにおける分譲マンション販売や不動産流通事業セグメントにおける売買仲介が好調に推移いたしました。加

えて、行動制限等の緩和によるホテル・レジャー関連事業の回復に伴い、管理運営事業セグメントが黒字に転換するなど、各事業が概ね堅調に推移した結果、下表の通り、第2四半期連結累計期間における過去最高の業績を計上いたしました。

第10期(2022年度)第2四半期業績

売上高	4,450億円
営業利益	459億円
経常利益	408億円
親会社株主に帰属する四半期純利益	269億円

通期の見通しについて

通期の見通しにつきまして、事業環境は資源価格高騰・海外における金利上昇リスクなど、先行き不透明な状況が継続しております。一方で、分譲マンション市場や不動産流通市場では活況が

続いていることに加え、感染拡大防止と社会経済活動の両立をめざすウィズコロナに向けた政策の推進、入国制限の緩和によるインバウンド需要の回復などによる経済の押し上げが期待されます。

このような状況を踏まえ、通期の業績予想につきましては、期初の予想から上方修正を行い、下表の通りといたしました。引き続き、中期経営計画に基づいて、事業ポートフォリオの見直しを着実に推し進めながら、環境経営とDXを通じた独自性のある価値創造に取り組み、お客さまから選ばれる商品・サービスを追求することで、計画達成を図ってまいります。

第10期(2022年度)業績予想

売上高	1兆50億円
営業利益	950億円
経常利益	810億円
親会社株主に帰属する当期純利益	390億円

なお、新規プロジェクトでは、2022年10月に「九段会館テラス」、「425 パーク・アベニュー」(➡両物件の詳細は、3～4ページ及び7～8ページをご参照ください)が相次いで開業を迎えました。今後につきましても、2023年度開業を予定する「渋谷駅桜丘口地区第一種市街地再開発事業」をはじめとして複数のプロジェクトが進行しており、引き続き推進してまいります。

株主の皆さまへ

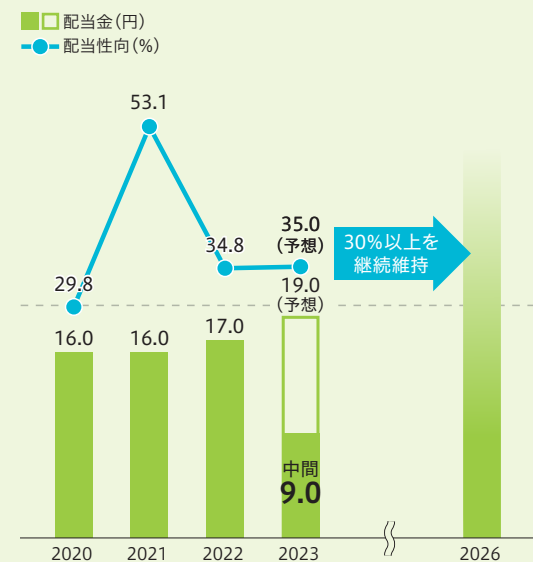
当社では、中期経営計画において当面の株主還元方針を「配当性向30%以上」「安定的な配当の維持継続」と定め、株主還元注力しております。この方針に基づき、今回の中間配当につきまして

は、1株につき9円といたしました。また、期末配当予想は、通期業績予想を踏まえ、期初予想より1円増配の10円を計画しております。(年間配当19円)

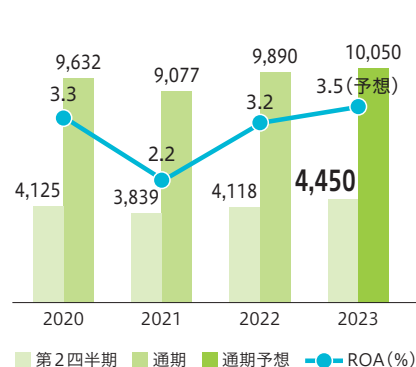
当社グループは「WE ARE GREEN」のスローガンのもと、あらゆる価値観を尊重し、多様性を受け入れ、異なる発想や考え方を認め合う企業グループとして魅力あふれる多彩なライフスタイルの創造に取り組み、ステークホルダーの皆さまとともにサステナブルな社会と成長、「誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来」の実現をめざしてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

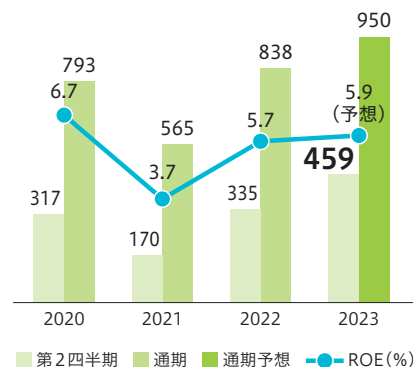
配当金／配当性向



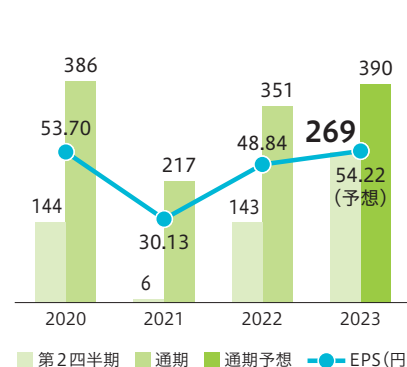
売上高(億円)／ROA(%)



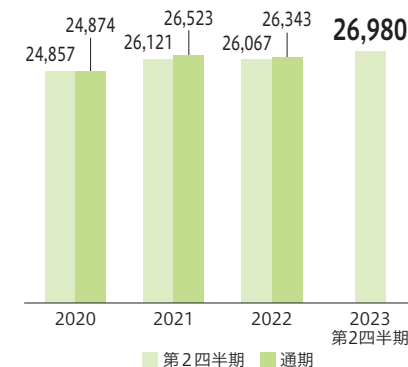
営業利益(億円)／ROE(%)



当期純利益※(億円)／EPS(円)(一株当たり当期純利益)



総資産(億円)



※当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益を掲載しております。

POINT 1 総括

分譲マンションの計上戸数の増加、売買仲介の好調、ホテル需要の一定回復等により、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益において、ホールディングス体制への移行前も含めて、過去最高(第2四半期連結累計期間)を達成。

POINT 2 配当金

当期の業績予想を上方修正したこと及び今後の経営環境等を勘案し、期末配当予想を前回予想から1円増額となる1株当たり10円に修正。

登録有形文化財「旧九段会館」の
保存・復原プロジェクト

九段会館テラス開業



歴史的
価値



最新
テクノロジー



ウェルネス

2022年
10月1日(土)
OPEN

サステナブルな社会と多様なライフスタイルに対応する
「GREEN WORK STYLE 未来の自分をつくる働き方」を提案し、
笑顔で自分らしく働ける場の提供をめざしています。

新旧が融合した“ここにしかない魅力”

九段会館テラスでは「水辺に咲くレトロモダン」というコンセプトのもと、登録有形文化財建造物である旧九段会館を一部保存しながら、最新テクノロジーの活用や企業の健康経営など、現代の様々なニーズを具現化し、建て替えました。歴史的建造物を創建当時の貴重な技術・素材を活かして保存・復原を行った保存部分と、IoTを活用し、お濠に臨む地上17階建ての最新鋭オフィスとなる新築部分の新旧が融合した、レトロモダンな施設が誕生しました。

施設内には東急不動産(株)が展開する会員制シェアオフィス「ビジネスエアポート九段下」と健康なコミュニティを創造する「九段食堂 KUDAN-SHOKUDO for the Public Good」、創建当時の意匠を保存・復原した「九段会館テラスコンファレンス&バンケット」、オフィスワーカーの健康サポートや利便性を高めるクリニックモールや店舗など様々な付帯施設を併設しております。単なるオフィスビルにとどまらず、お濠の地を活かした回遊性や屋敷町として発展してきた九段下の歴史と格式を両立させた“ここにしかない魅力”を持つワークプレイスをめざしています。



「九段会館テラス」施設概要

所在地：東京都千代田区九段南一丁目6番5号
交通：東京メトロ半蔵門線・東西線、都営新宿線「九段下」駅徒歩1分
構造・規模：S造(CFT造)・RC造・SRC造、地下3階地上17階建
敷地面積：約8,765㎡
延床面積：約68,036㎡
高さ：約74.9m

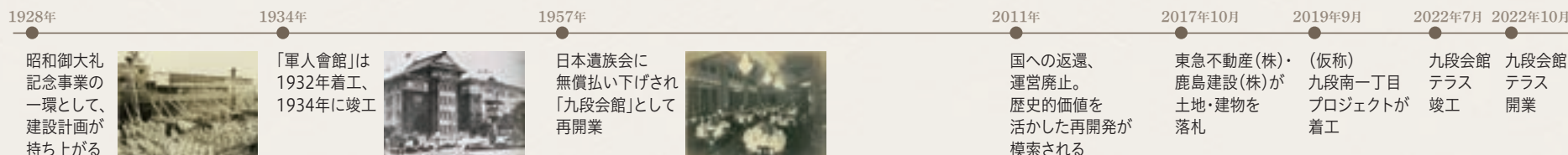
TOPICS

施設内の「ビジネスエアポート九段下」を
株主優待にてご利用いただけます！

➡ 詳細はp9をご覧ください。



旧九段会館のこれまで



90年前の職人技と素材を活かす 唯一無二の新旧融合デザイン

現代では入手や再現が困難な90年前の職人技と素材からなる旧九段会館の、建物北側と東側部分を保存し、保存部分と新築部分が一体となった“ここにしかないデザイン”を採用しました。また、保存部分を展示して眺めるだけの場にせず、日常利用を続ける動態保存とすることで、旧九段会館の歴史を身近に感じながら過ごせる空間を提供します。

バンケットホール

戦前の絵はがきや写真など当時の資料をもとに、床材や特注織物のクロスを張り替え、創建当時の姿を復原しました。意匠を壊さぬよう温かみのある光を放つ、特注のシャンデリアを採用しております。



玄関ホール・プラザ

玄関ホールは、創建当時の大理石を活用し、創建時の素材に近い風合いとモダンさを併せ持つ建材を厳選し、レトロモダンな空間を演出。また、ゆったりとしたプラザは、保存部分と新築部分をモチーフとした内装で囲まれた、半屋外の雰囲気演出しております。

ゲストルーム／クラシックオフィス

応接・役員室として使用していた部屋は「ゲストルーム 雅・葵」として再生いたしました。当時の雰囲気そのままに、洗練された家具が格式高い空間を演出。旧九段会館の雰囲気を感じられるクラシックオフィスは小規模オフィスですが、クラシックな雰囲気を残しつつも、最新鋭のセキュリティシステムを導入し、現代のニーズに応えたオフィスを提供しております。

スマートガラスやIoTソリューションなどの 最新テクノロジーを融合したオフィス

最新技術を導入し、快適に働けるワークスペースを提案。国内オフィスビルへ初導入となるスマートガラス「View Smart Glass」は、屋上設置のセンサーとAIにより、天候に合わせてガラスの透過率を自動調整し、室内に差し込む自然光・熱量を最適化して空調や照明などによるエネルギー消費量を削減いたします。

また、データ連携基盤「Smart City Platform」を活用し、混雑状況検知をはじめとするIoTソリューションを一元運用。さらに、新型コロナウイルス感染症対策として、ICカード連動エレベーターや、非接触・抗菌・換気の仕組みを導入し、安心して働ける環境作りを提案しております。

企業の健康経営をサポートし、 多様な働き方を実現するウェルネスオフィス

- 健康なコミュニティを創造する職域食堂「九段食堂 KUDAN-SHOKUDO for the Public Good」
- グリーンオフィスを体現する屋外エリア
- オフィスワーカーの健康を支えるクリニックモールの設置
- 地元・行政と連携した交流の場



九段ひろば

価値を創造し続ける企業グループへ

当社及び当社グループ会社の「価値を創造し続ける企業グループ」の実現に向けた取り組み事例をご紹介します。

東急リバブル(株)50周年特集

TOPICS 1 多様な事業領域をつなぎ、ともにお客様と社会の未来へ向けて コーポレートブランドを刷新

東急リバブル(株)は2022年3月に創立50周年を迎えました。総合不動産流通企業として社会情勢の変化や、多様なお客様ニーズにお応えするため、リテール不動産仲介業を基軸に、ホールセール市場への本格参入、不動産の開発・販売、新築販売受託業、富裕層やシニア向け事業など、新たな事業領域にチャレンジし成長を続けてまいりました。今後の更なるお客様への価値提供と事業の発展をめざし、お客様とともに未来を切り開いていく変革の旗印としてコーポレートブランドを刷新しました。

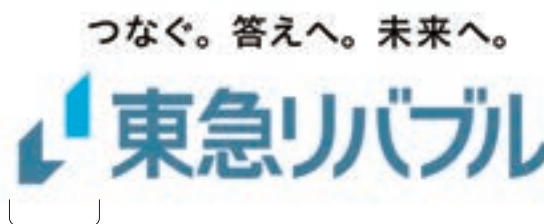
沿革

1972年3月 東急リバブル(株)の前身である(株)エリアサービスが、東急不動産(株)の100%子会社として誕生

1988年1月 東急リバブル(株)に商号変更し、「暮らし替えのお手伝い」をスローガンに不動産仲介ブランドをスタート

2022年3月 創立50周年を迎える

新スローガンとコーポレートロゴマークの刷新



新スローガン

同社の仕事を「つなぐ」という大きな価値で捉えます。「つなぐ」のは、お客様一人ひとりへの最適解(答え)とそれぞれの未来、そして社会全体の未来です。同社の様々な専門領域をつなぎ合わせて新たな価値を創っていくという意味も込めています。

新社名ロゴマーク

スマートフォンなどのデジタルデバイスでも可読性が保てる垂直や水平を多用したシンプルなデザインにしました。従来のロゴにも使用している元気で革新的なエネルギーと親身さが感じられる色を**イノベティブブルー**、テクノロジー感や真摯でプロフェッショナルな印象の色を**プロフェッショナルブルー**とした2色配置で、同社の特徴を表しています。

新シンボルマーク(LIVABLE LINK)

- このLは「Live」「Life」など
同社が扱う物件や生活空間などの場を表しています。
- 二つのアルファベットをつなぐように隠れているLは
「Livable」「Lead」「Link」など、当社が担うつなぐ役割を表しています。
- このIは「I(お客様・社員)」「Information」
「Intelligence」「Innovation」「Imagination」など
同社が持っている技術・知見、社員やお客様を表しています。

新CM



日々奮闘する営業の姿を熱演!

東急リバブル(株)は創業50周年を機に、新たなイメージキャラクターに俳優の岡田准一さんを起用し、新CM「その街のプロになれ」「お客様より考えろ」「現場100回」の3篇を制作しました。新CMはそれぞれ特徴的なテーマで不動産のプロとしてお客様の期待に応えるため、日々奮闘する東急リバブル(株)の営業の姿を熱く演じています。

■ **新CM概要** タイトル:「その街のプロになれ」篇「お客様より考えろ」篇「現場100回」篇(各30秒)
放映地域:首都圏、関西、中京、北海道、宮城

TOPICS 2 当社提供テレビ番組「みどりをつなぐヒト」 当社として初となる1社提供番組が放映

この度、当社として初となる一社提供テレビ番組「みどりをつなぐヒト」が、10月4日(火)よりテレビ東京にて放送を開始しました。

当番組は、当社のグループスローガンである「WE ARE GREEN」の世界観に沿い、誰もが自分らしくいきいきと輝ける未来をつくるヒトにスポットを当てた内容となっております。

第一回目の放送では、東急不動産(株)の再生可能エネルギー事業「ReENE」の風力発電所が所在する北海道・松前町の石山町長がご出演されました。



みどりをつなぐヒト 番組情報

テレビ東京 毎週火曜日22:58~23:06

公式サイトはこちら▶

放映された内容は番組アーカイブからご覧いただけます。



TOPICS 3 ダブルブランドホテル「東急ステイ メルキュール 大阪なんば」を 心斎橋エリアに開業 「東急ステイ」と仏「メルキュール」がフランチャイズ契約締結

2022年
12月1日(木)
開業



外観イメージ



ロビーイメージ

東急リゾート&ステイ(株)が運営する「東急ステイ」は、フランス・パリを拠点とするアコー社のホテルブランド「Mercure(メルキュール)」と、フランチャイズ契約を締結し、ダブルブランドホテル「東急ステイ メルキュール 大阪なんば」を2022年12月1日(木)に開業いたしました。

国内30店舗を運営する東急ステイとメルキュールによるダブルブランドホテルは、東急ステイが持つ高い滞在機能性に、メルキュールが持つ洗練されたデザイン性を加えることで、満足度の高い滞在体験が提供できます。地域とのつながりを大切にするという両社のめざす提供価値が合致し、東急ステイとしては初のダブルブランドホテルとなります。

アクセスも良く、観光・グルメ・ショッピングが楽しめるエリアとして海外のお客さまから注目度の高い難波地区に位置し、メルキュールと提携をすることで、海外のお客さまも安心してご利用いただけます。

株主優待でもご利用いただけます! ➡ 詳細はp9をご覧ください。

ニューヨーク **NY** で425パーク・アベニュー開業

TOPICS 4 マンハッタン プラザ地区
 パーク・アベニューで約50年ぶりの再開発事業



米国時間10月26日に425パーク・アベニューのオープニングセレモニーを開催し、
 テープカットなどの開業を記念する行事を行いました。
 パートナーのL&L Holding社、BentallGreenOak社、設計会社のFoster + Partners社とともに、
 東急不動産(株)から代表取締役社長の岡田 正志が登壇いたしました。

東急不動産(株)が子会社のTokyu Land US Corporationを通じて、
 ニューヨーク・マンハッタンで事業参画していたオフィス・店舗ビル
 「425パーク・アベニュー」を開業しました。

東急不動産(株)は2012年にTokyu Land US Corporationを設立し、
 ロサンゼルスとニューヨークを拠点に、米国全土で計20件、4,543戸の
 賃貸住宅、計2件・約70千㎡のオフィス賃貸事業に参画するなど(2022年
 10月31日時点)米国内での投資を積極的に推進しています。

米国における東急不動産(株)の事業展開

安定的な成長が見込める賃貸住宅アセットにおいて、リノベーションにより
 価値を高めるバリューアド事業[※]及び開発事業を中心に同国での事業を
 積極的に推進しています。

[※]バリューアド事業:既存建物に対して、リノベーションによるハード面改善や運営見直しによるソフト面改善により、収益性を高め、不動産価値を向上させ、売却時に差益を獲得する事業。既存建物を改修し使い続けることで、建て替えによるCO₂排出や廃棄物を削減できることから、環境に優しい取り組みとしても注目されています。

425パーク・アベニューの特長

425パーク・アベニューがあるプラザ地区は、セントラルパークに近接し、高級ホテルや世界的企業の本社が集積するマンハッタン有数のオフィスエリアです。パークアベニューは長期にわたり、開発規制などから新規オフィスの開発が行われておりませんでした。425パーク・アベニューにおいてフルブロック再開発事業が実現しました。

■ Norman Foster卿による設計、 アメニティフロアを備えたオフィスビル

Norman Foster卿による本物件のデザインは、階高16mの開放感ある総ガラス張りの壁と大理石張りのエントランスロビー、ビルの視認性を高める高さ40mのLED付フィンに加え、セットバックを活かした2つのダイアグリッドフロア(低層特殊階・アメニティフロア)が、建物を低層階・中層階・高層階に分けた特徴的な意匠設計となりました。

26階には、テナントが利用できる階高13mのアメニティフロアを設置し、外に出られるテラスを設け、草間彌生氏制作のアートを展示するなど、テナント満足度を追求した環境を提供します。

■ WELL CORE GOLD認証の取得

本物件はその空間で過ごす人の心身の健康に配慮したビルに与えられるWELL CORE GOLD認証を取得しました。空気品質性を確保するための空気ろ過システムの設置、高品質飲料水の提供、アメニティフロアにおける健康に配慮した食品・飲料の提供や心の健康管理を提供する瞑想室の設置など、働く人の心身の健康に配慮した環境を提供します。

■ 全体の約85%の賃貸借契約が完了※

世界有数のヘッジファンドであるCitadel社が20フロア・全体の約6割を賃借し、他にも資産運用会社、プライベートエクイティファンドなどが入居します。

また、マンハッタンにミシュラン2つ星の店舗を有し、世界的に有名なシェフであるJean-Georges Vongerichten氏がレストラン・カクテルラウンジを開業するのに加え、アメニティフロアにおいても食品・飲料を提供する予定です。

※2022年10月31日時点

■ 環境性能評価 LEED認証GOLDを 取得予定

本事業では仕様・設備において環境負荷に配慮し、米国グリーンビルディング協会によるLEED (Leadership in Energy and Environmental Design) 認証のGOLDを取得する予定となっています。

「425パーク・アベニュー」概要

名 称	425パーク・アベニュー
敷 地 面 積	約2,595㎡
賃 貸 面 積	約64,213㎡
構 造・規 模	地下:鉄骨鉄筋コンクリート造 地上:鉄骨造 地下2階地上45階建
建物の高さ	248m



株主優待制度について

当社では、株主の皆さまに感謝の意を表するとともに、個人を中心とする投資家層の拡大を図り、より多くの方に当社グループ事業への一層のご理解を賜ることを目的として2つの株主優待制度を導入しております。

1. 株主様ご優待券

株主様ご優待券とは

当社グループが運営しているホテルハーヴェスト・リゾートホテル・ゴルフ場・スキー場、フィットネスクラブ、会員制シェアオフィス等をご優待料金にてご利用いただけるご優待券です。

年2回(6月末頃、12月上旬)に発行しております。

ご優待券とご案内を一冊にまとめています。

ご優待券はミシン目に沿って切り離してご利用ください。



ご利用
いただける期間中は、
お手元に保管いただき、
ぜひご利用ください。

新規対象施設のご案内

会員制シェアオフィス ビジネスエアポート

■シェアワークプレイス

多目的に利用できる国際空港のラウンジをイメージした共用ラウンジ。ミーティング、商談、ソロワークなどにおすすめです。



アドレス会員

住所利用・全拠点
シェアワークプレイス利用

マスター会員

全拠点シェアワークプレイス
利用

プライベート会員

全拠点シェアワークプレイス
利用／制限あり

1DAY会員

シェアワークプレイス
スポット利用



■サービスオフィス

全日24時間利用でき、多様な働き方に対応する専有スペース。メインオフィスやサテライトオフィス、プロジェクト利用などにおすすめです。

ROOM
(個室)

BOOTH
(半個室)

DESK
(固定席)

OPEN DESK
(会員用共有デスク)

2. 継続保有株主優遇制度

継続保有株主優遇制度とは

500株以上、3年以上継続保有の株主さまに、対象期間の保有株式数に応じて実施しており、次回は2023年6月末頃の実施を予定しております。

当社の株主名簿に、同一株主番号で、当該3月末日割当日を含む直近7回の割当日(3月末日、9月末日)に保有されていた最小株式数に応じて、実施いたします。

■ 継続保有期間や保有株式数に応じた進呈区分は下記事例をご参照ください。 単位:株

	2019年 3月末日	2019年 9月末日	2020年 3月末日	2020年 9月末日	2021年 3月末日	2021年 9月末日	2022年 3月末日	2022年 9月末日	2023年 3月末日
2022年度	割当日1	割当日2	割当日3	割当日4	割当日5	割当日6	割当日7		
2023年度			割当日1	割当日2	割当日3	割当日4	割当日5	割当日6	割当日7
株主Aさまの 保有株式数	100	100	500	500	500	500	500	500	1,000
株主Bさまの 保有株式数	1,000	1,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000

株主Aさま ▶ 2022年度 継続保有期間中の最小株式数が100株のため、進呈対象外になります。

株主Aさま ▶ 2023年度 継続保有期間中の最小株式数：500株→進呈区分：500株

株主Bさま ▶ 2022年度 継続保有期間中の最小株式数：1,000株→進呈区分：1,000株

株主Bさま ▶ 2023年度 継続保有期間中の最小株式数：5,000株→進呈区分：5,000株

● 株主優待制度のアンケートを実施

当社では、株主優待制度の満足度向上のため2022年6月発送の「第9期報告書」にてアンケートを実施させていただきました。ご回答いただきました株主さまには、心より御礼申し上げます。

皆さまからの貴重なご意見を、今後の株主優待制度に反映させてまいります。

アンケート結果につきましては、以下よりご覧いただけます。

https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ir/individual/communication/pdf/questionnaire_results.pdf?20220929



よくいただくご質問



Q 株主様ご優待券はいつごろ、どのように送られてきますか？

A 当社の3月末日の株主名簿に記載された株主さまには6月末（株主総会終了後）に期末配当通知と一緒に、9月末日の株主名簿に記載された株主さまには12月上旬に中間配当通知と一緒に送ります。

Q 相続により株式を保有しました。継続保有期間の起算はどうなりますか？

A 株式所有者の名義変更に伴い、株主番号が変更になります。そのため、継続保有期間の起算は株主番号変更直後の3月末日からになります。

Q 株主番号が変わるのはどのような場合ですか？

A 一般的には株主番号が変わる可能性があるケースとして以下があげられます。

● 株主名簿の登録が変更された場合

- (例) ・相続などにより株式の名義人が変更になった場合
・株式をお預けの証券会社を変更された場合

● 株主名簿の登録から外れた後に、再度登録された場合

- (例) ・保有株式を全て売却し、割当日までに株式を買い戻した場合
・株式をお預けの証券会社で保有株式の全てを売却し、別の証券会社で株式を買い戻した場合

株式保有に関する手続きやお問合せは、証券会社の口座で株式をお持ちの方はお取引先の証券会社に、特別口座で株式をお持ちの方は三井住友信託銀行 証券代行部まで申し出ください。

2022年度カタログギフト ご寄付について(ご報告)

「セーブ・ザ・チルドレン」

「セーブ・ザ・チルドレン」への寄付を選択された株主さまからの寄付金総額は、365,000円(2022年10月末日現在)になりました。寄付金は「セーブ・ザ・チルドレン」に寄付し、緊急・人道支援、保健・栄養、教育、子どもの保護、防災などの分野で活動につなげていきます。

- 「セーブ・ザ・チルドレン」ホームページURL
<https://www.savechildren.or.jp/>



「緑をつなぐプロジェクト(森林保全活動)」

「緑をつなぐプロジェクト」への寄付を選択された株主さまからの寄付金総額は、110,000円(2022年10月末日現在)になりました。寄付金は「緑をつなぐプロジェクト」を通じて森林保全活動につなげていきます。

- 「緑をつなぐプロジェクト」ホームページURL
<https://tokyu-midori.com/>

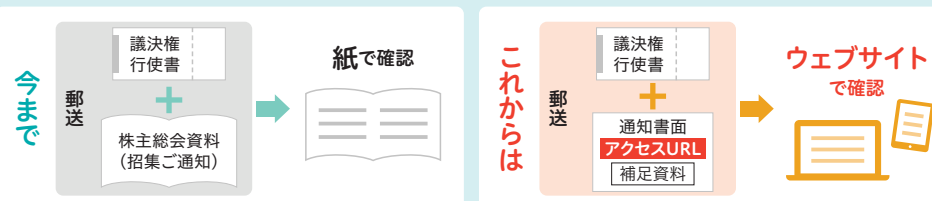


会社法改正
による

株主総会資料電子化のお知らせ

会社法改正により株主総会資料(招集ご通知)が2023年3月以降原則ウェブサイトでの提供となります。

議決権を有する株主の皆さまには、議決権行使書、通知書面(招集ご通知を掲載したウェブサイトのアクセスURLと招集ご通知の一部を抜粋した補足資料)を郵送いたします。ウェブサイト上では招集ご通知の全ページがご覧いただけます。※配当金関係書類は今まで通り別途郵送いたします。



引き続き次回定時株主総会資料(招集ご通知)の書面の送付を希望される株主さまは、当社の株主総会基準日である2023年3月31日までに「書面交付請求」のお手続きが必要となります。

詳しくは三井住友信託銀行証券代行部へお問い合わせください。

書面交付請求のお問合せ先

三井住友信託銀行証券代行部 ☎ 0120-533-600

受付時間：9:00～17:00(土・日・休日を除く)

- 電子提供制度についてのご案内

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/kaisyahou>



会社概要／株式の状況(2022年9月30日現在)

会社概要

商 号	東急不動産ホールディングス株式会社 Tokyu Fudosan Holdings Corporation
設 立	2013年10月1日
資 本 金	77,562,030,000円
従 業 員 数	連結21,276名(2022年3月31日現在)
ホームページアドレス	https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/
所 在 地	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-21-1

役員

取締役会長	金 指 潔
代表取締役社長 社長執行役員	西川 弘典
代表取締役 副社長執行役員	植村 仁
取締役 執行役員	岡田 正志
取締役 執行役員	木村 昌平
取締役 執行役員	太田 陽一
取締役 執行役員	星野 浩明
取締役	野本 弘文
取締役	貝阿彌 誠 ^{※1}
取締役	新井 佐恵子 ^{※1}
取締役	三浦 惺 ^{※1}
取締役	星野 次彦 ^{※1}
取締役	定塚 由美子 ^{※1}
執行役員	三木 克志
執行役員	吉浦 勝博
執行役員	池内 敬
執行役員	田中 辰明
執行役員	榎戸 明子
執行役員	亀島 成幸
執行役員	小玉 潤
執行役員	宇杉 真一郎
執行役員	橋本 茂
常勤監査役	持田 一夫
常勤監査役	橋詰 雅彦
監査役	武智 克典 ^{※2}
監査役	仲澤 孝宏 ^{※2}

※1印は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
 ※2印は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式の状況

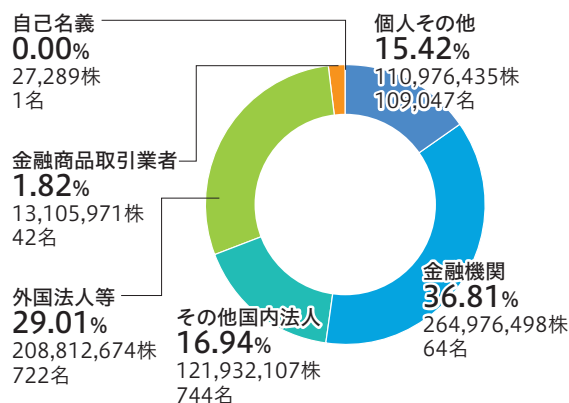
発行可能株式総数	2,400,000,000株
発行済株式総数	719,830,974株
株主総数	110,620名
単元株式数	100株

大株主の状況

株主名	株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	115,483	16.04
東急(株)	114,479	15.90
(株)日本カストディ銀行(信託口)	62,220	8.64
三井住友信託銀行(株)	16,008	2.22
第一生命保険(株)	11,934	1.66
ピーエヌワイエム アズエー・ジェイ クライアンス ノントリー・ティージャスデック	11,834	1.64
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	10,999	1.53
東急不動産ホールディングス従業員持株会	10,541	1.46
HSBC BANK PLC A/C HSBC BANK PLC AS TRUSTEE FOR PUTM ACS JAPAN EQUITY FUND	9,427	1.31
日本生命保険(相)	8,107	1.13

(注) 持株比率は、自己株式27,289株を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
株主確定基準日	定時株主総会、期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公 告 方 法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関 (郵便物送付先) (電話照会先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
(インターネット) ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行(株)にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行(株)にお申出ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」((株)証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行(株)に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
 この冊子は、地球環境に配慮し、FSC®認証紙と植物油インキを使用しています。